

帯鉄用結束機 使用方法

札幌産業(株)

片締め型引締め機

片締め式引き締め機の代表作です。本方式は引き締め時にシールに力が加わらないため並シールが使用でき、平坦部が少なくても引き締めが可能です（丸物結束にも対応できますが、丸物にはプッシュ式の方が作業性が良好です）

写真はKDS社製LKS型引締め機

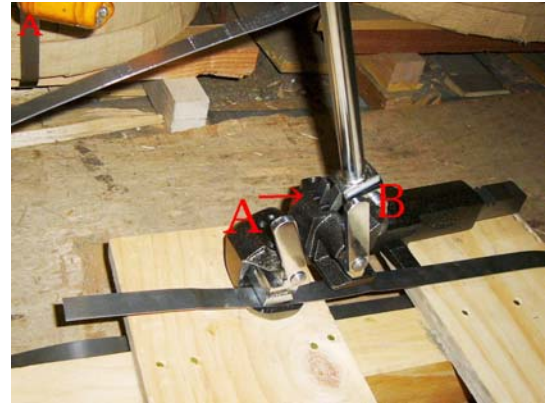
①

本方式は梱包物が丸物にも角物にも使用し、梱包物を選びません。結束部が宙に浮いた部分での引き締めも可能ですので広く使用されています。



②

A・B2つの固定爪レバーのAを操作し、帯鉄先端を機械にセットします。



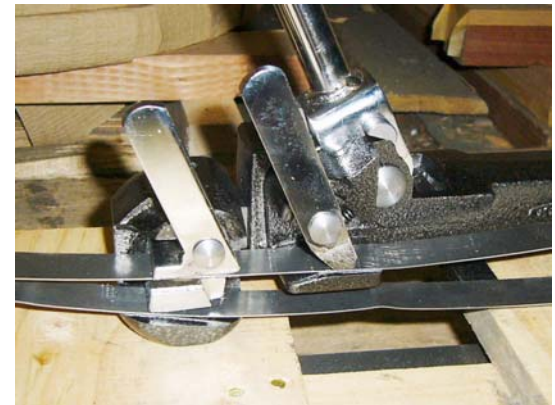
③

Bレバーを指で前方に押さえ、梱包物を周回させた帯鉄を前方又は横方向からセットします。帯鉄は長尺のままでも使用可能です。



④

帯鉄セッティングの拡大写真です。操作レバーの無い機種や挿入溝に帯鉄をセットしにくい機種も有りますが、本機は作業性良好です。



⑤

引き締めレバーを前に倒すと本体部が前にスライドしますので更に増し締めが出来ます。後方の帯鉄を手で保持しながら操作して下さい。



⑥

シールの封緘作業です。梱包物に平坦部が少なくても結束が出来、並（オープン）シールが使用できます。



⑦

引き締めレバーを前方にスライドさせ、帯鉄を固定していたBレバーを押しながら引き締め機を横方向にスライドさせ、取り外します。



⑧

本品にはカッターが付いていませんので余分な帯鉄は鋏で切断するか、数回折り曲げて切断して下さい。

